



## どうすればよい? 「話すこと・聞くこと」の授業

先生方は日々の授業の中で、A 話すこと・聞くことの領域を指導する際、どのようなところに疑問をもち、課題を感じているのでしょうか。難しいなど感じている先生もきっと多いと思います。本講座では片島中学校が2年生「話し合うこと」の授業に挑戦してくれます。

片島中学校国語科が、単元構想を行う中で、特に悩んだ所が次の2点です。

○「テーマ」について

社会生活の中で、どのような話題のテーマを設定すれば、生徒が主体的に話し合いに向かうのか。

○単元末に目指す生徒の姿（おおむね満足できる状況B）について

育成を目指す資質・能力【話し合うこと（1）オ】が身に付いた生徒の姿がどのような姿であればよいのか。



挑戦!  
片島中の



### 片島中学校が提案する単元構想

自己の成長(変容)を自覚

#### 「話し合うこと」の学習過程

ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。

オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。



自己や、話し合い  
そのものについての課題を、  
生徒自身が自覚

#### 1サイクル目

①「AIが発達すると人間の幸福度は上がるのか」というテーマについて討論を行い、自分の考えが広がり深まったりしたのかについて振り返る。

②「討論」についてのゴールのイメージを共有する。

参加者の先生方が中学生になったつもりで1サイクル目の討論を体験! 実際にやってみる中で、自己の授業の課題も感じていました。



#### 2サイクル目

①テーマを生徒が設定し、立場を決めた上で情報を収集し、話し合いの内容について検討する。

②グループ別に討論する。

③録画した討論の映像をもとに、多様な視点から自分の考えが広がり深まったりしたのか、「意見と根拠」の関係について考える。

④「情報の収集」や「内容の検討」の過程に立ち返り、自分たちの主張と根拠について再検討する。

本時

#### 3サイクル目

①これまでの学習をもとに、情報の収集、内容の検討を行い、グループ別に討論を行ってテーマについての自分の考えをまとめる。

②学習を振り返り、話し合いを通して自分の考えが深まったり広がったりしたところの要因と話し合い(討論)の意義を共有する。

#### 課題の解決

(動画の活用)

参加者の声

・指導については、生徒が試行錯誤する時間を設定することが大切だと思った。評価については、指導計画を作成するときから綿密なイメージをもつことが重要であるということが分かった。  
・単元ゴールや学習過程におけるBと判断する生徒の具体的なイメージを指導者がもっていないと、評価すべき学習場面の選別や生徒の適正な見取りに繋がらない。単元構想の段階で身に付けさせたい力を明確にすることが必要だと感じた。



### 指導のポイント

片島中学校の疑問を解決できるように、具体的な事例を交えながらご説明いただきました。



指導・助言：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官  
国立教育政策研究所 教育課程調査官・学力調査官  
鈴木 太郎 氏

#### Q.テーマはどのように設定すればよいですか？

A.「AIが発達すると幸福度は上がるのか」ような二項対立になるテーマを設定してしまうと、自分の立場を保守するための話し合いになりかねません。例えば今回の場合、「AIを学校での学習に活用することについて条件整備を含めて話し合う」等のテーマにすることで、どういう場合に使って良いのか悪いのか、一定の結論に向かって話し合う目的が生まれます。第2学年の話し合いでは、学習指導要領解説に「結論を導くために考えをまとめる」と示されています。このように各指導事項で示す力が発揮しやすいテーマの設定が大切です。

#### Q.国語の教師として必要な力とは？

A.言葉の力は、国語科の限られた時数の中だけで育成することには限界があります。だからこそ中学校卒業時に身に付けさせたい国語の力を、教師がイメージした上で戦略的に年間計画を立てる必要があります。国語で身に付けたポイントを他教科等で経験させて国語に戻すという、他教科との関連でサイクルを回せることが国語の教師として求められる力です。

#### Q.「話し合う」ことにおけるB（おおむね満足できる状況）評価とは、どのような姿ですか？

A.今回の話し合いの場合でいうと「互いの立場や考えを尊重しながら話し合う側面(拡散)」と「結論を導くために考えをまとめる側面(収束)」の場面において、実際の話し合いの中での発言を想定してみましょう。

#### 発言例

(拡散)

・そう考えるのはなぜですか？なぜその根拠から〇〇と言えるのですか？  
・AもBもまとめると〇〇という点では同じですね。それなのに、どうして〇〇といえるのですか？

(収束)

・皆さんの考えは〇〇という点では、それぞれ異なっていますが、□□の点では同じ(賛成している)ように思うのですが、いかがですか。  
・〇〇についてはなかなか結論はできませんが、□□については～という考えが多いので・・・とまとめてはどうでしょうか。  
このようなまとめで何か問題点はありますか。

このようにBの姿を具体的に想定した上で指導し、生徒の姿を授業の中で見取ります。その上でBに達していない生徒には、次のサイクルにどのような手立てをすればよいのかを考えて再度指導を入れていきましょう。